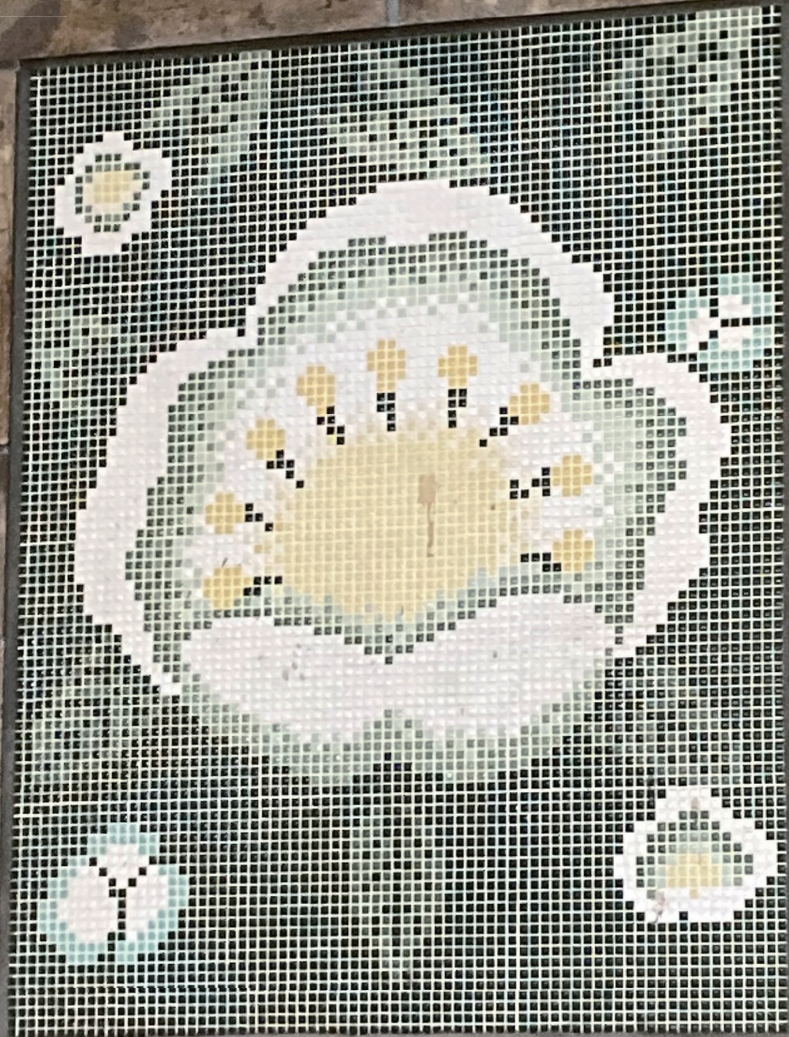


もりまち

議会だより



写真/庁舎3階「茶の花」

題字は、森小学校のみなさんが書いてくれました。

まつしたりく はぎわらたいせい しぶやいいな
松下湊 萩原大惺 澁谷虹那さん

すずきゆいか やまだももこ おさだねね
鈴木唯花 山田桃子 長田寧音さん

《主な内容》

定例会の概要	2～3	ページ
委員会報告	4	ページ
政策提言について	5	ページ
一般質問	6～7	ページ
旧周智高校跡地について	他	

定例会の概要

3年度一般会計当初予算
78億7千2百万円
38議案全て可決

※報告と議員発議は議案に含まない。

森町議会は、3月定例会を2日から25日までの会期24日間で開催し、当局から提出された当初予算、条例など38議案を審議しました。

一般質問は「旧周智高校跡地利用」等、4人が質問しました。
(6～7ページに掲載)

3月2日 本会議初日

提出された議案の説明

専決処分2件、人事1件、条例6件、令和2年度補正予算4件、一般議案11件、令和3年度当初予算10件の計36議案の提出及び説明がありました。専決処分2件、人事1件、一般議案1件は、当日可決しました。

3月5日 本会議

補正予算を可決・発議1件上程

全議案の質疑を行い、条例、一般議案、令和3年度当初予算は、詳細な審査を行うため、第一・第二常任委員会に審査を付託しました。令和2年度補正予算は、賛成全員で可決しました。また、議員による発議で、

森町議会議規則の改正が提出され、議会運営委員会に付託しました。

3月9日～15日

委員会による議案審査

9・11・12日の3日間に渡り、第一・第二常任委員会を開催し、15日には議会運営委員会を開催し、それぞれ付託された議案の審査を行いました。
(4ページに掲載)

3月24日 一般質問

4人の議員が、一般質問を行いました。
(6・7ページに掲載)

3月25日 本会議最終日

追加議案2件の審議・計34議案可決

第一・第二常任委員会と、議会運営委員会から、審査内容の経緯と結果について、報告を行いました。定例会初日に提出された32件と、追加提出された令和3年度補正予算2件を賛成全員で可決しました。また、議員による発議1件を可決しました。

当初予算における主な歳入・歳出の推移 (万円未満四捨五入)

歳入項目	3年度	2年度	31年度	30年度	29年度
町税	22億2094万円	23億5213万円	23億4680万円	23億1006万円	23億4579万円
地方交付税	16億8000万円	16億1000万円	15億5000万円	15億0000万円	13億7000万円
繰入金	4億5102万円	6億8511万円	6億3612万円	5億4809万円	4億2796万円
国庫支出金	7億6658万円	6億1983万円	5億7892万円	5億6410万円	6億2922万円
県支出金	4億7790万円	5億5169万円	5億2040万円	4億6727万円	4億3129万円
町債(借入金)	8億2890万円	7億1210万円	5億2070万円	5億7120万円	6億2430万円
歳出項目	3年度	2年度	31年度	30年度	29年度
民生費	21億2736万円	20億5536万円	20億2280万円	20億3872万円	20億6946万円
総務費	12億6574万円	12億4407万円	9億8692万円	9億1310万円	8億5786万円
衛生費	10億1782万円	10億822万円	10億142万円	10億126万円	9億9269万円
教育費	9億5566万円	9億6487万円	9億708万円	9億1539万円	8億7483万円
土木費	7億844万円	7億4003万円	7億968万円	6億9324万円	7億3371万円
商工費	1億5443万円	2億5664万円	2億8988万円	1億8242万円	9748万円
農林水産業費	2億1822万円	2億3693万円	1億9820万円	1億7642万円	1億8951万円

〈主な質疑内容〉

Q 町営グラウンド照明施設LED化改修事業に係る町債2170万円を、地域活性化事業債に組み替えるようだが、交付税措置はあるのか

A 交付税措置の算入率は30%である

Q 特別支援学級の増設であるが、対象児童・生徒は増加傾向にあるのか

A 小学校における特別支援の対象となる児童数は令和元年度が43名で、令和2年度が49名、令和3年度が53名である。中学校における対象生徒数は令和元年度が9名で、令和2年度が14名、令和3年度の見込みが21名で、増加傾向にある

Q 三倉・天方地区への光ファイバ網整備の事業費が確定したとのことであるが内容は。また充当していた地債を減額するのはなぜか

A 総事業費は当初2億9800万円の予算が約2億5100万円となったため、町の負担は1億6000万円から1億2000万円となった。地債は当初1億3320万で計上していたが、全国の要望額が地方債の計画に定める総額を上回ってしまったということで、配分枠が絞られてしまい9900万円の計上とした

Q 光ファイバ網は必要とされる地区全域がカバーされたということか

A 公衆用道路が通っていない住宅や技術的に電柱設置が困難な住宅等、若干提供できないエリアがあったが、必要とされる地区についてはカバーできていると判断をしている

Q 結いまる(株)の荒茶加工施設設備導入に対する補助金8340万円はこれまでにない金額規模であるが、導入する設備や年間生産計画は

A 天方茶農協の茶工場能力を120キログラム、2系統にして生産量のアップをしていきたいということである。産地生産基盤パワーアップ事業の全体事業費は税込1億8348万円で、補助対象は税を抜いた1億6680万円で、その2分の1の8340万円が国庫補助金という事業となっている。導入する機械等については生葉加工工程装置が約3529万円、蒸し工程装置が約2556万円、葉打ち粗揉工程装置が約4862万円、中火工程装置が約1054万円、仕上げ工程装置が約2131万円、付帯設備工事が約2548万円といった事業内容となっている。生産計画は、現在の経営茶園面積が約20ヘクタールで、加工処

理能力を上げることにより経営茶園面積を増やすことができ、目標は約28ヘクタールを掲げている。販売金額目標は、令和2年度の実績が10アール当たり約28万7000円で、これを約12%増を目指して、令和4年度に約32万2300円にしていく計画である

Q 厳しい茶況の中でも生産拡大を図る事業者に対して町の支援を考えているか

A 海外への輸出等は近年伸びている。国・県もそういったものに対する補助事業を用意しているのので、町としてもそういった事業を随時紹介していく。また、実際に生産者が何を困っているかということを聞き取りしながら、ある程度基盤整備が整った農道について、痛みが激しいところに県営の事業等を検討できないかといった農道整備の方にも、少しずつ展開していきたいと考えている

Q 宮代西沢川の改修は緊急を要する河川改修だと思っている。この予算でどこまでできるのか

A プレキャスト水路でサイズは横幅8センチ深さ8センチを50m、枝の水路は横幅60センチ深さ60センチを15m施工する。民地に影響している部分については今回の工事ですべて完了する。4月には発

注して梅雨前には完了したい

Q ヤマハパス入目当てのふるさと応援寄付金が増えているが実績は

A 令和3年1月末時点の入金ペー

スは578台分で、40万円と50万円の寄付金を合算して2億5070万円となる。年度末に向けて若干まだ期待をされるといふ風に見込んでいる

Q 森町病院での「コロナ患者受け入れ病床はいつまで確保し、その補償単価は

A 現在5床を確保している。状況を踏まえ臨機応変に継続も考え対応している。1床あたりの空床補償単価は、1日3万2000円となっている

Q 新型コロナウイルス対策による介護サービスへの影響は

A 利用者及び利用者家族から不満の声というものは届いていない。コロナ対策が利用控えに繋がっているということはないと考えている。介護事業者へのサポートについては随時相談に乗り、必要な対策方法や補助金等を紹介している。令和3年度は介護施設でのクラスター対策について意見交換していきたいと考えている

Q 新型コロナウイルス対策による介護サービスへの影響は

A 利用者及び利用者家族から不満の声というものは届いていない。コロナ対策が利用控えに繋がっているということはないと考えている。介護事業者へのサポートについては随時相談に乗り、必要な対策方法や補助金等を紹介している。令和3年度は介護施設でのクラスター対策について意見交換していきたいと考えている

委員会による議案審査

3月9・11・12日の3日間に渡り、審査を行いました。

【学校教育課所管事項】
Q 英語教育推進事業におけるALTの人員確保はできているか
A JETプログラムを実施しているが、予定した1名がコロナで来日できず、時期は未定。来年度も体制を維持し、授業に影響がないようにしたいと考えている

Q 教科書等整備事業715万2000円は、ICTデジタル授業に対応するものか
A 小学校では今年度中に理科を除く4教科はデジタル教科書を導入しており、来年度に理科を導入する。中学校は4年に一度の教科書採択の時期であり、デジタル教科書も含めて費用としている

【防災課所管事項】
Q 消防団員確保が大変になっていないか
A 各分団の地区毎の対象年齢者の人数や割合等を分析し、現状維持が難しい場合には、出動する車両等に、体制を維持するための団員数を考慮し、組織の規模を見定めたい

Q 必要のない火の見櫓は撤去するべきだと思つたが、どうか
A 火の見櫓の多くが、撤去が進んでいない現状にある。まずは火の見櫓の現状を調査した上で優先順位を整理し、消防団や地元の方の意見を聞きながら、撤去を進めていきたいと考えている

【総務課所管事項】
Q 会計年度任用職員が増えつつあるが、財政改革推進の観点からどのように判断し、採用しているか
A 行財政改革審議会の意見も参考に、働き方改革や健康管理、業務量等から判断し、採用を決定している

Q 旧周智高校機械実習棟の利活用で、森町教育支援センター「わかば」やシルバー人材センター事務所に決まった経緯は
A 県から払い下げを受ける際に、教育関係施設や公共的団体への貸出等、公共施設として利活用することのことで公共減額を受けている。また、各課からの利活用提案の中にも「わかば」やシルバー人材センターの要望もあり決定した

Q 衆議院選挙と町議会議員選挙で会場借り上げ料等の予算が大きく違うが、なぜか
A 季節的に冷風機の借上げがあるかないかの違いである

【保健福祉課所管事項】
Q 収入減に対する減免措置は、全額国庫補助が受けられるのか
A 全額国庫補助の対象で、3月11日現在12名が申請し、全員減免される

Q 条例には虐待防止の規定があるが、町内施設では虐待の事例はないか
A 介護施設や児童相談所が各施設の利用者や職員から相談を受けているが、今まで虐待の事例はない。介護医療院などは、例としては袋井みつかわ病院などがある

Q 社会福祉協議会への委託料が昨年より増となっているが、その要因は
A 非常勤職員の一名増が要因。

Q コロナ禍の影響等で生活困窮相談件数が増えており、保健福祉課とも連携して対応している
A 病児・病後児保育事業負担金50万8千円の詳細は。また、この事業は森町単独ではできないか

Q 全体事業費が761万6000円で、内訳は国が3分の1、県が3分の1、残りの3分の1は、袋井市・森町で基礎割・人口割となつている。町内の施設の必要性は認識している

【企画財政課所管事項】
Q 小中学校跡地利活用検討委員会は今回開催か
A 跡地利活用のアンケートに全国コンペを、と意見があったがどうか
A 検討委員会は4回開催予定。全国コンペへの意見があったが、広範囲にわたる意見が出る可能性等が考えられるため、まずは検討委員会などで意見を聞いた上で検討していく

【建設課所管事項】
Q 太田川右岸道路の自転車の安全対策について、路肩の水たまりや草、樹木の木等を避けるために、自転車公道にはみ出すことがあがるか
A 現状は、舗装改修や草刈り等を行って維持管理をしている。樹木(サザンカ)の剪定や伐採については課題と感じているので、今後対応について検討していく

【議会事務局所管事項】
Q リモート会議やリモート視察等の費用は予算に含まれているか
A 予算に含まれていない。改選を迎えるため、新しい体制の中でリモート会議や視察について考えていきたい

【住民生活課所管事項】
Q 保険給付費の出産育児一時金一人当たり42万円は、出産費用を全部補えるのか
A 出産費用から42万円を引いた額が被保険者に請求されるが、おおよそ10万円くらいの負担となる

【森町議会会議規則の一部を改正する規定について】
Q 欠席事由の「産前6週、産後8週」とあるが、産前6週にしたら理由は何
A 全国町村議長会の改正案及び労働基準法の産前、産後の規定並びに森町の職員の勤務時間、休暇等に関する規則は「産前6週、産後8週」としているためである

Q 欠席の事由に「やむを得ない事由」とあるが、議長の判断とするのか
A 今まで欠席事由は「事故」のみで、その都度議長が判断し、全員に報告・承諾を得る形としていた。本事由についても、同様とする

Q 「疾病」の表記ではなく、「傷病」とした理由は
A 怪我や病気と分かりやすくするため「傷病」とした。なお、参考にした全国町村議長会の案では「傷病」となっている



助成する下宿公民館の視察



宮代大洞院線道路改修視察

	検証評価の基準	評点	平均点
A	必要な取組みを着実に実施。その結果、目標達成若しくはほぼ達成	5	4.5以上
B	必要な取組みを着実に実施。その結果、達成に向けて具体的成果が見られる	4	3.5以上
C	必要な取組みを概ね実施。その結果、一定の成果が見られ始めている	3	2.5以上
D	必要な取組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている	2	1.5以上
E	取組みに向けた検討に着手、目標達成に向けた具体的展開が今後の課題である	1	1.4以下

平成30年度・令和元年度政策提言の検証評価を実施

議会では、人口減少問題を大きなテーマとし、町民の皆さまとの意見交換を実施してきました。その意見を踏まえて、平成30年・令和元年に、町長に対して政策提言を行い、その実現を求めました。

政策提言は、提言すれば終わりではなく、その後当局が提言をどのように施策に反映させたか、1年以上経過後に検証評価を行うことにし、この度平成30年度・令和元年度に提出した政策提言の検証評価を議員全員で実施しました。

提言1 認定こども園の推進について
 ・検証評価【D評価】 評点1.6
 C：1人 D：6人 E：5人

提言2 企業誘致への取組について
 ・検証評価【D評価】 評点1.5
 D：6人 E：6人

提言3 移住定住の促進について
 ・検証評価【D評価】 評点1.6
 D：8人 E：4人

提言4 デマンドタクシー導入促進について
 ・検証評価【D評価】 評点1.5
 D：6人 E：6人

提言5 学校再編に伴い課題となる通学方法は、何よりも児童・生徒及び保護者目線で検討し、精神的・体的負担軽減を図ること
 ・検証評価【C評価】 評点3.0
 B：4人 C：4人 D：4人

提言6 学校、工場跡地利用は喫緊の課題である。地域振興の観点から、地域住民、地域団体等広く意見を聞き、速やかに活用方針を示すこと
 ・検証評価【D評価】 評点2.0
 C：1人 D：11人

提言7 地球温暖化に伴う風水害は、過去に例を見ない被害をもたらして

いることから、河川出水率や避難所指定箇所等、風水害に対する防災対策を図ること
 ・検証評価【E評価】 評点1.2
 D：3人 E：9人

提言8 国は地方におけるコンパクトシティ構想を打ち出しているが、地域コミュニティの維持は何よりも重要である。よって、様々な視点から調査、研究すること
 ・検証評価【E評価】 評点1.0
 D：1人 E：11人

提言9 ふじのくにのフロンティアを拓く取組み事業の効果、検証と今後の事業推進計画を町民に伝わるよう広報すること
 ・検証評価【E評価】 評点1.1
 D：2人 E：10人

提言10 町の各種委員会の性質を見極め、町内会長への当て職削減を図ること
 ・検証評価【E評価】 評点1.0
 E：12人

提言11 町内会の再編、統合等に係る町への相談にあつては、課題の洗い出し、事例等の調査など相互に協力して対策を講じること
 ・検証評価【E評価】 評点1.0
 E：12人

提言12 荒廃農地の減少対策
 ・検証評価【C評価】 評点2.6
 B：2人 C：4人 D：6人

提言13 有害鳥獣対策
 ・検証評価【C評価】 評点3.2
 B：3人 C：9人

提言14 町内会による環境美化活動について
 ・検証評価【D評価】 評点1.7
 C：1人 D：7人 E：4人

提言15 移住定住の推進について
 ・検証評価【D評価】 評点1.6
 D：8人 E：4人



3月25日 政策提言を町長に提出



← 議会ホームページで詳細を閲覧できます。



西田 彰

小学校統合準備会での
会議詳細は

会議詳細は



西田

バス通学の問題点と対策は。

教育長

「低学年の児童のバスの乗り換えが心配」との意見があり、大河内線を遠州森町バス停まで直行延伸することとした。その他、安全に降できる場所へのバス停の移設や、バス通学に係る費用は町が負担をする等の対応を図ることとした。

西田

学習面、地域密着度等への対応は。

教育長

学習面での大きな違いはないが、単式学級と複式学級の学習の進め方の差の解消を図るため、非常勤講師を任用した。

西田

放課後子ども教室及び放課後児童クラブの進め方は。

今までの地域と学校の取組をそのまま継続することは難しいが、今後、三倉・天方地区を知る学校活動の機会を設けていく。

教育長

放課後子ども教室は、毎週水曜日到天方小の教室や体育館を利用し、三倉・天方地区の希望する児童を対象に実施する。スタッフは3人体制で、安全面にも配慮する。放課後児童クラブは個別に利用申込みを受け付け、森小での利用となる。

西田

警報発令・解除時の対応の基準は。

教育長

警報発令時の対応は三倉小、天方小の基準に合わせ変更する。具体的には午前6時30分の時点で、一つ以上の警報・特別警報が発令されれば自宅待機。午前8時30分までに解除されない場合は、休校とする。

(その他の質問)

- * 後期高齢者の医療費負担（一割から二割）は問題がある
- * 北部地域の命と暮らしを守る取組みを

町政を問う ～ 一般質問 ～



川岸 和花子

歴史民俗資料館を
中心とした
まちづくりは

まちづくりは



川岸

旧周智高校実習棟施設改修に合わせ、誰でも利用できる駐車場も整備されると説明があった。旧周智高校跡地周辺は、蓮華寺、歴史民俗資料館、周智高校創立者顕彰庭園、庵山公園等、歴史的な建造物や資料が多い。森町の歴史を学ぶエリアとしてコー入整備ができないか。

町長

旧周智高校跡地周辺一帯は、森町の歴史を学ぶのに適していると考ええる。その中心となる森町歴史民俗資料館で開設している「資料館フェイェスブック」の中で、エリア一帯を散策したくなるような紹介を、これまで以上に行ってまいりたい。また、顕彰庭園付近に解説付きの案内看板の設置や、新たな周遊コースのパンフレットを作成する等森町の歴史を学ぶエリアとして整備することも考えられるので、関係機関と調整しながら、検討していきたいと考えている。

川岸

森林環境譲与税を、文化財保護と観光を含めた景観整備に活用できないか。

町長

森林環境譲与税は法律の規定に基づいて、森林整備に関する施策を中心に活用していく。その中で史跡保護などと両立するような活用方法があれば検討していきたいと考えている。



森町歴史民俗資料館



中根 幸男

就労支援施設を 旧周智高校跡地に



中根 ノーマライゼーションの観点から、陣屋峠の高台にある障害者就労支援施設「ワークスつばさもみの木分場」を、旧周智高校跡地に移設できないか。

町長 「ワークスつばさ もみの木分場」は、町が平成2年に建設した就労継続支援B型に該当する定員15名の施設で、平成23年度から袋井市の社会福祉法人「明和会」が運営を行っている。

現在の場所は落ち着いた環境で、ほとんどの利用者が長年通っている利用しやすい事業所である。また、建物も適正に管理されていることから移転が必要という認識はない。しかし、就労継続支援B型の利用者は年々増加しており、今後、民間事業者が町内に開設を希望する場合には、旧周智高校跡地を始め、小・中学校の跡地等も提供候補地として検討していきたいと考えている。

中根 袋井警察署森分庁舎の夜間警戒体制強化により、三倉・園田・飯田の各駐在所が廃止（再編）

された。駐在所の廃止に伴い、児童生徒の登下校中の防犯体制を強化するため、通学路等に防犯カメラの設置を計画的に進めてはどうか。

町長 町では防犯対策事業として、町内会が行う防犯灯設置事業に対し補助金を交付している。防犯カメラは、犯罪の防止や摘発、容疑者の拘束に大きな効果があると考えているが、個人のプライバシーを侵害する恐れがあり、維持費、録画データ管理、運用規約の作成等の町内会等の負担が非常に大きくなること想定される。

町としては、防犯対策として今後防犯灯の更なる普及促進、子供10番の家の活用や、スクールガード、防犯ボランティアの養成を図っていききたいと考えている。

また、周辺市町の取組み状況や町内会等の意向を把握し、要望が多ければ防犯対策事業として防犯灯の設置と合わせ、防犯カメラの設置についても、警察や中部電力の取組みを参考に補助制度の制定等を検討していきたいと考えている。

町政を問う ～ 一般質問 ～



岡戸 章夫

地域公共交通会議の 進め方について



岡戸 地域公共交通会議では「必要となる事項を協議する」とあるが、作成された計画書の承認の場になっていると感じる。事前に、より地域の声を反映した議論の場が必要と考えるがどうか。

町長 地域公共交通会議は、道路運送法施行規則第9条の3の規定に基づき、設置するものとされている。従来も、地域要望等による町営バスのバス停設置や移設、運行ルートの見直し等、事前調整が必要な事項について、協議してきた。

今後、デマンドタクシー等の新規事業を検討する場合には、より地域の声を反映させるため、ニーズ調査や作業部会の開催等についても広く研究していきたいと考えている。

岡戸 DX推進による新部署の設置
DX推進において専門部署を新設の予定はあるか。

町長 総務省は昨年12月に「自治体デジタル・トランスフォー

メーション（DX）推進計画」を策定した。この改革には組織的な対応が必要となるため、森町でも専門の課が必要と考えるが、職員定数条例によりただちに新たな課の新設は難しい。

まずは、庁内既存組織の「森町電子計算組織運営委員会」及び「森町ICT活用検討会」等を活用し、国や県の動向を注視しつつ、森町に適したDXに対応した新たな組織等を検討していきたいと考えている。

*自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画とは

新型コロナウイルス等の対応から見えた様々な課題を踏まえて、人々の生活をICTの浸透によってより良い方向に変化させることを目的に作られた計画。

自治体には、組織体制の整備、デジタル人材の確保・育成、計画的な取組みが求められる。

新 議 員 紹 介



清水 健一 平川 勇 岡戸章夫 川岸和花子 佐藤明孝 増田恭子
中根信一郎 中根幸男 亀澤 進 西田 彰 吉筋恵治 加藤久幸



ホームページ
議員紹介

議会を聴きに来ませんか。

3月議会では、のべ9人の方が、議会へ足を運んでくださいました。

傍聴の予約は必要ありません。手続きも簡単です。議場は3階ですので、是非お越しください。なお、議会の模様をYouTubeにて配信しています。こちらをご覧ください。



YouTube
森町議会

< 6月定例会の予定 >

6月8日(火)	本会議	初日
6月15日(火)	本会議	2日目
6月17日(木)	常任委員会	
6月23日(水)	本会議	一般質問
6月25日(金)	本会議	最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

出前議会報告を実施します。

町民の皆さんに、議会をより身近に感じていただけるよう、議会報告に伺います。

開催希望の町内会や各種団体等は、議会事務局まで御連絡ください。

森町折々の写真を募集中!

議会だよりや議会ホームページで使用する写真やイラストを募集しています。詳しくは議会ホームページを御覧いただくか、事務局までお問合せください。皆様の御応募をお待ちしています!

【問合せ先】
森町議会事務局(本庁舎3階)
〒437-0293
周智郡森町森2101-1
電話 0538-85-6329
メール morimachi.gikai@gmail.com



ホームページQRコード

事務局紹介



*写真右から
事務局(庶務・議事係長)
深田 薫
事務局長(参事兼局長)
花嶋 亘
事務局(議事係主事)
汐澤久美子

私たち議会事務局は、町民の代表である町議会議員をサポートし、議会開催等を円滑に進めるよう業務を行っています。どうぞよろしくお願いたします。

発行責任者 議長

もりまち議会だより第87号
令和3年(2021年)5月15日発行

発行 静岡県静岡郡森町議会
編集 議会だより編集委員会

〒437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1
TEL 0538-85-6329 FAX 0538-85-6044

https://www.morimachigikai.com/
E-mail: morimachi.gikai@gmail.com